

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究（Graduation Thesis）		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120611	クラス名	三浦研究室
担当教員名	三浦 逸朗		
履修上の注意、 履修条件	三浦研究室に配属された学生のみ履修することができます。 卒業研究のテーマについて、関心を持ち、積極的に取り組むことが大切です。そのようなテーマを受講学生と担当教員が、相談しながら選びます。		
教科書	その都度、資料を配布するなどして、提供する。		
参考文献及び指定図書	その都度、適切な図書を紹介する。		
関連科目	構造設計1、研究ゼミナールA、研究ゼミナールB		

○基本情報		
授業の目的	自らが研究してオリジナルな成果を出すことを目標とします。担当教員の指導のもとで、研究を進めますが、受講生自身が自ら研究を遂行する経験が、社会人として活動する中で重要な意味をもちます。	
授業の概要	木質構造に関する未解決の問題からテーマを選び、文献調査、解析、実験などを通じて研究します。1年間の研究をまとめて、卒業論文を作成します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	研究テーマに対しての文献調査や現地調査を自ら考え行動できる力を養う。			25点
【知識・理解】	研究テーマに関わる建築などの専門的な知識を正確に理解できていること。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	限られた発表時間の中で、的確に研究テーマの目的と達成できたことについて、表現することができること。			25点
【思考・判断・創造】	研究テーマが、社会的な貢献につながるような提案ができている。また、その提案が実現可能なものかについて自己評価が行える。			25点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
課題の選定も重視する。教員から与えられるのではなく、自ら課題を見つける姿勢を評価する。課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）	授業コード	L120611
		担当教員	三浦 逸朗		
学修内容					
1. テーマ選定の説明					
予習	事前にどんなテーマが考えられるか、自分で考える				約2時間
復習	面談から自分の考えを固める				約2時間
2. テーマ選定の説明					
予習	事前にどんなテーマが考えられるか、自分で考える				約2時間
復習	面談から自分の考えを固める				約2時間
3. テーマ選定の説明					
予習	事前にどんなテーマが考えられるか、自分で考える				約2時間
復習	面談から自分の考えを固める				約2時間
4. テーマ選定の説明					
予習	事前にどんなテーマが考えられるか、自分で考える				約2時間
復習	面談から自分の考えを固める				約2時間
5. 具体的なテーマの検討					
予習	テーマを解決するための手法を考える				約2時間
復習	面談でその手法が妥当か考える				約2時間
6. 具体的なテーマの検討					
予習	テーマを解決するための手法を考える				約2時間
復習	面談でその手法が妥当か考える				約2時間
7. 具体的なテーマの検討					
予習	テーマを解決するための手法を考える				約2時間
復習	面談でその手法が妥当か考える				約2時間
8. 具体的なテーマの検討					
予習	テーマを解決するための手法を考える				約2時間
復習	面談でその手法が妥当か考える				約2時間

○授業計画		科 目 名	卒業研究（Graduation Thesis）		授業コード	L120611
		担当教員	三浦 逸朗			
学修内容						
9. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
10. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
11. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
12. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
13. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
14. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
15. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間
16. 調査実験の実施						
予習	調査の実施方法の検討					約2時間
復習	面談で調査方法を考える					約2時間